



フィクション・シティ

賢沢貧乏

わたしは、フィクションなんかに救われたい

贅沢貧乏「フィクション・シティー」

日程 2017/9/28~10/1

9/28 木 19:30
 9/29 金 14:00☆/19:30
 9/30 土 13:00/18:00☆
 10/1 日 13:00

※受付開始は開演40分前、開場は開演30分前より
 ☆アフタートークあり

出演 田島ゆみか
 大竹このみ
 神崎れな
 猪俣三四郎
 和田瑠子
 野口卓磨
 森準人
 猪瀬晋史
 山田由梨

作・演出/山田由梨

贅沢貧乏とは

2012年旗揚げ、山田由梨(劇作家・演出家・女優)主宰。舞台と客席、現実と異世界、正常と狂気の境界線をシームレスに行き来しながら、現代の日本社会が抱える問題をポップに、かろやかに浮かび上げらせる作風を特徴とする。2014年より一軒家やアパートを長期的に借りて創作・稽古・上演を実施する「家プロジェクト(home-project)」の活動を展開。一軒家を丸ごと使った観客移動型の群像劇『ハイセイ・アパートメント』(第15回AAF戯曲賞ノミネート)や、アパートの一室で3ヶ月間に及ぶロングラン上演を実施し、俳優の週休3日制・スケジュールに基づいた報酬設定を取り入れるなど、既存の上演体制にこだわらない、柔軟で実験的な試みを行なう。2016年にはアド・エッセンスにて、チェルノブイリや福島での出来事を題材にした『テンテン』で約900人を動員。本作『フィクション・シティー』では、史上最少人数にて芸術eyes単独公演に選出されるなど、劇場での活動にも注目が集まる。

大丈夫
 わたしはまだ持っている

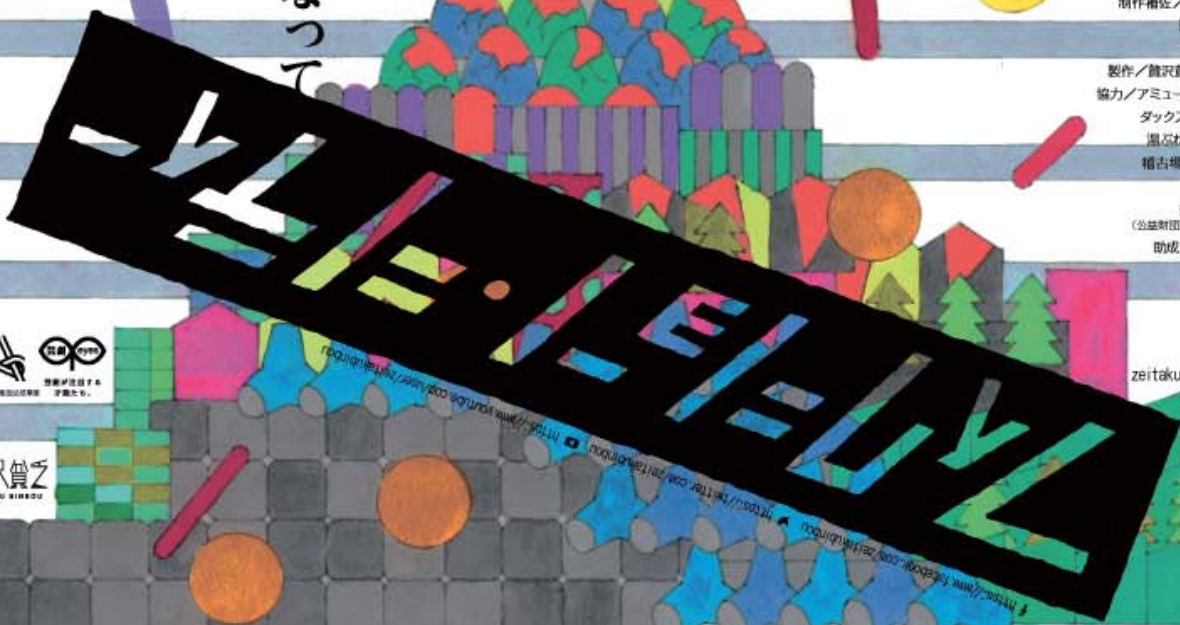
フィクション・シティーへの不安と期待を
 破裂しそうに持っている
 もし破裂して

何もかもが消えてなくなっても
 そこに
 わたしは懲りずに

その近くの椅子をおいて
 破裂したときの熱でコーヒーをいれて
 それを飲みながら

目を一緒にすすすすと思おう
 だから安心して
 破裂してなくなっても

破



会場 東京芸術劇場 シアター・イースト

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1

JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅西口より徒歩2分。
 駅地下通路の出口より直結。



一般 ¥4,000
 U25 ¥3,000
 (観劇明細、各回枚数限定)
 ※当日各¥500増し

芸術先行販売 (WEB先着) /
 7月28日(金)10:00~7月29日(土)23:59
 東京芸術劇場ボックスオフィス
 窓口・電話/0570-010-296 (休館日を除く10:00~19:00)
 PC/http://www.geigeki.jp/t/
 携帯/http://www.geigeki.jp/i/
 一般販売 /
 7月30日(日)10:00~より!
 東京芸術劇場ボックスオフィス
 & 公演特設サイトにて取扱

公演特設サイト
<https://zeitakubinhou-fictioncity.tumblr.com/>

クレジット

作・演出/山田由梨
 舞台美術/佐々木文美
 舞台監督/佐藤由
 照明/藤原将之 (LIGHT-ER)
 音響/星野大輔 (サウンドウィズ)
 音楽/阿部文平
 衣装/山口大樹
 振付/武井琴
 プロジェクション/岸本智也
 宣伝美術/栗山有
 制作/堀明美
 制作補佐/松本芽生・木村彩花
 製作統括/狩野由人
 企画制作/贅沢貧乏
 製作/贅沢貧乏・株式会社アプレ
 協力/アミューズ・サウンドウィズ
 タックス・アップ・ナイロン100°C
 黒ぶね・kitakita・LIGHT-ER
 稽古場協力/グ・スタジオ
 主催/贅沢貧乏
 提携/東京芸術劇場
 (公益財団法人東京芸術文化財団)
 助成/芸術文化振興基金

お問合せ

贅沢貧乏
 zeitaku.binhou@gmail.com
 050-5243-4685



贅沢貧乏
 ZEITAKU BINBOU